

令和 5年度（ 4年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	教育局
	政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実		課(室)名	生涯学習課
	施策	家庭・地域の教育力の向上		電話番号	087-839-2633
	基本事業	家庭及び地域の教育力向上の推進		事業実施主体	市
	事務事業	早寝早起き朝ごはん運動普及・啓発事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	近年の少子化や核家族化などにより、家庭の教育力の向上が求められている中、子どもたちの健やかな成長には、基本的な生活習慣の形成が大切であり、特に、朝ごはんの摂取は、子どもたちの学力に影響を与えることが全国学力・学習状況調査結果から伺える。また、学校での問題行動の抑制など心の安定にも効果があるといわれているため、文部科学省が展開している「早寝早起き朝ごはん運動」のさらなる普及・啓発活動を実施する。また、令和 2 年度から子どもの基本的な生活習慣づくりの定着を図るため、「生活リズムチェックシート」を配付するなどの啓発事業を実施している。また、令和 3 年度から香川県の委託事業として、「生活リズムでパワーUP事業」を実施している。		
5年度概要	各小・中学校での普及・啓発活動の実施 ・生活リズムチェックシートの配付、回収、集計、集計結果の報告 ・啓発ちらしの配付 生活リズムでパワーUP事業（県委託事業）		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）

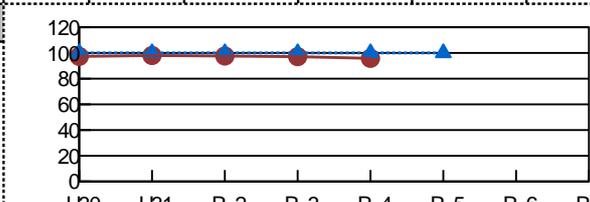
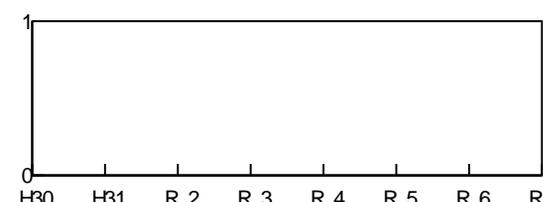
【事業の目的】

対象（何を）	幼、小、中学校、保育所の児童・生徒及び保護者
意図（どのような状態にしたいか）	子どもたちの生活リズムを向上させ、学習やスポーツ・読書など様々な活動にいきいきと取り組める子どもたちを育成する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
早寝早起き朝ごはん運動普及・啓発事業実施校数	校	70	70	70	70	70

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
朝食を食べる小学 6 年生の比率	%	目標値	100	100	100	100	100
		実績値	97.6	97.1	95.8		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 積極的に「早寝早起き朝ごはん運動」の啓発活動を実施した結果、目標を若干下回ったものの、朝食摂取率は高い水準を保っている。 （目標達成度） 							（達成度） 95.8% 33点
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
		目標値					
		実績値					
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） （目標達成度）							（達成度）

【コストの推移】

指標名	単位	令和 2年度（決算）	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（予算）
トータルコスト	[円]	5,385	4,976	6,465	6,525
（事業費）	[円]	148	446	478	538
（職員人件費）	[円]	5,237	4,530	5,987	5,987

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	----------	--------------------------	-----------

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

就学時健康診断等多くの保護者が集まる機会をとらえて、啓発を行った。また、香川県の委託事業として、「生活リズムでパワーUP事業」を継続して実施している。引き続き、学校・家庭の一層の協力を得ながら、朝ごはん摂取率の向上等に努める必要がある。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

児童・生徒の朝食摂取率の向上に向けて、この取組を継続的に推進することはもとより、啓発チラシやチェックシートの内容の更なる充実に努める。

令和 5年度（ 4年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	教育局
	政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実		課(室)名	生涯学習課
	施策	家庭・地域の教育力の向上		電話番号	087-839-2633
	基本事業	家庭及び地域の教育力向上の推進		事業実施主体	市
	事務事業	家庭教育推進事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	家庭教育力の更なる向上を図るため、小学校における就学時健康診断・入学説明会や、幼稚園の授業参観等の機会を活用した「家庭教育応援講座」を実施し、多種多様な学習機会・関連情報を提供する。また、自分の都合に合わせて、「家庭教育コラム」の掲載や家庭教育に関する動画の配信などを実施する。
-------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

5年度概要	家庭教育応援講座の開催 家庭教育についての情報発信
-------	------------------------------

重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）
--------	----------	---------	-------------------

【事業の目的】

対象（何を）	市内の幼児・児童・生徒の保護者
意図（どのような状態にしたいか）	家庭教育力の向上、ワークライフバランス、社会活動への参画のほか、情報交換・相互交流を促進する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
家庭教育コラム掲載回数	回			5	5	5

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
成果指標	講座の開催数	件	目標値	390	220	235	250	250
			実績値	190	183	128		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 令和4年度から家庭教育学級と子育て力向上応援講座を統合したことや、新型コロナウイルス感染症の影響により一部の講座が中止となったことなどから目標を達成することができなかった。 (目標達成度)							(達成度) 54.9%
								19点
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	令和 2年度（決算）	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（予算）
トータルコスト	[円]	6,557	6,714	5,917	6,560
（事業費）	[円]	571	674	678	1,321
（職員人件費）	[円]	5,986	6,040	5,239	5,239

【評価】

評価ランク（A～D）	C	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

新型コロナウイルス感染症の影響や事業の見直しにより、家庭教育に関する講座の開催回数は減少傾向にある中、令和4年度からは、時間や場所を問わず、家庭教育について学習できるよう、「家庭教育コラム」の掲載等を開始した。ライフスタイルの変更等に対応した家庭教育についての学びの機会の提供が求められている。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

令和4年度から、家庭教育学級と子育て力向上応援講座を統合し、事業内容を拡充した上で、家庭教育応援講座として実施しており、制度の周知等を強化していく。また、家庭教育コラムの掲載など様々な手法を用いて家庭教育に関する啓発活動を実施していく。

令和 5年度 (4年度決算分) 高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	教育局
	政策	社会を生き抜く力を育む教育の充実		課(室)名	生涯学習課
	施策	家庭・地域の教育力の向上		電話番号	087-839-2633
	基本事業	家庭及び地域の教育力向上の推進		事業実施主体	市
	事務事業	子どもを中心にした地域交流事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	各地域のコミュニティ協議会や子ども会、PTA等の複数の各種団体で構成された実行委員会が、年間7日以上実施する子ども、保護者及び地域の大人が交流する事業に対して、助成する。			
5年度概要	新規 3 団体への補助 継続 4 団体への補助			
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業 (法律による実施義務無)	

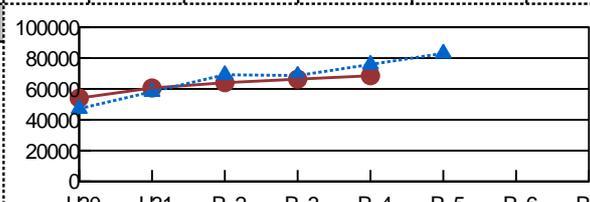
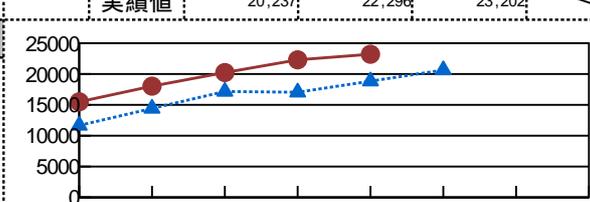
【事業の目的】

対象(何を)	各地域の児童生徒とその保護者並びに地域の大人
意図(どのような状態にしたいか)	事業を通して、地域の子どもと保護者並びに大人が顔見知りになることで、人と人とのネットワークが広がり、地域の教育力が向上する。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
補助金交付団体数(新規)	団体	4	1	2	3	3
補助金交付団体数(継続)	団体	4	5	5	4	4

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 2	R 3	R 4	R 5	中期目標 R 5
成果指標	地域交流事業に参加した児童生徒の累計人数	人	目標値	69,182	68,682	75,882	83,082	75,882
			実績値	64,035	66,340	68,541		
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、一部の事業を中止・縮小した地域があったことが影響し、目標を達成することができなかった。 						(達成度) 90.3%	31点
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を講じた上で、多くの保護者が積極的に事業に参加したため、目標を達成することができた。 						(達成度) 123.1%	35点
成果指標	地域交流事業に参加した保護者の累計人数	人	目標値	17,167	17,042	18,842	20,642	18,842
			実績値	20,237	22,296	23,202		

【コストの推移】

指標名	単位	令和 2年度(決算)	令和 3年度(決算)	令和 4年度(決算)	令和 5年度(予算)
トータルコスト	[円]	3,426	3,415	2,788	2,865
(事業費)	[円]	433	395	543	620
(職員人件費)	[円]	2,993	3,020	2,245	2,245

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

新型コロナウイルス感染症の影響により、事業を中止・縮小した地域があったが、感染対策を講じた上で実施した地域では、子ども・保護者・大人との交流を図ることができた。助成期間終了後も、地域で引き続き取組が行われるよう事業実施の効果などの効果的な情報発信が求められている。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

子どもを中心にした地域交流事業をしていない地域への働きかけを早めに行っていく必要がある。